

安 全 情 報

No 21 / 2016

邦人がよく利用するホテルにおいて殺人事件が発生

5月26日(木)、カラカス首都圏スクレ市サンタ・エドゥビヒス地区のペスターナホテルの客室において、殺人事件が発生しました。無差別に宿泊客を狙った殺人事件ではないことから、連続発生の可能性は低いと考えられますが、カラカス内のホテルでは、強盗、窃盗事件が相次いでおり、注意が必要です。

記

1 概要

(1) 発生日時

平成28年5月26日(木) 時間帯不明

(2) 発生場所

カラカス首都圏スクレ市サンタ・エドゥビヒス地区ペスターナホテル客室内

(3) 被害者等

ベネズエラ人 43歳 男性 (PDVSA職員)

(4) 状況

被害者は、25日(水)夜、他の男性1名とともにチェックインし、客室に入りました。

26日朝、清掃のため従業員が部屋に入ったところ、被害者は、猿ぐつわで拘束された状態で、刃物により刺殺されていました。同室の男性は、26日の早朝に鞆等を持ってホテルを出ており、未だ行方が分かっていません。また、被害者の車は、ホテルに残されたままでした。

2 注意事項

ペスターナホテルは、邦人出張者もよく利用するホテルであり、入り口には従業員等が多数配置されるなど、セキュリティ面でも決して悪いホテルではありません。今回の事件の内容を見る限り、宿泊客を無差別に狙った殺人事件ではないと思料されますが、カラカス首都圏のホテルでは、宿泊客に対する強盗、窃盗事件が発生しており、以下の点に注意して下さい。

(1) ホテル内であっても深夜早朝の行動は避ける。

(2) 入り口ドアは確実に施錠し、ドアチェーンも使用する。

(3) ホテル従業員が、犯人と共犯の可能性もあることから、むやみにドアを開けない。

(4) 貴重品を部屋に放置せず、必ず客室内のセイフティーボックスかフロントに預ける。